

R5天草市立楠浦小学校グランドデザイン

学校教育目標
夢の実現に向け主体的に学び続ける児童の育成
 ～自分がすき、友達がすきと言える児童を育てる
 こころ・くらし・まなび・からだ 4つのプロジェクト～

- 関係法令
- 第3期くまもと「夢への架け橋」教育プラン
- 熊本の学び推進プラン
- 県教育庁各課取組の方向
- 天草教育事務所取組の方向

- 児童の実態
- 児童の思いや願い
- 家庭の実態・期待や願い
- 地域の実態・期待や願い
- 社会からの期待や要請

めざす児童像

- こころ～思いやりの心をもち、ふるさと楠浦を大切に**する児童 楠浦がすき**
- くらし～安心・安全な学校（学級）づくりができる**児童 学校がすき**
- まなび～基礎・基本を身につけ、主体的に**学ぶ児童 勉強が好き**
- からだ～たくましい心と体をもつ**児童 自分が好き**

めざす教師像

- 愛情を持って児童を育てる**教職員（教育的愛情と人権感覚）**
- 創造性に富み、自ら伸びようとする**教職員（使命感と向上心）**
- 職責に責任を持ち、協力し合える**教職員（組織の一員としての自覚）**
- 保護者地域住民から信頼される**教職員（保護者・地域住民との連携）**

めざす学校像

- 明るく楽しく、明日が待ち遠しい**学校**
- 美しく整備され、潤いのある**学校**
- 地域に愛され信頼される**学校**

育成する資質・能力

- 共感力(学校がすき)**
○周りの友達の気持ちを考える力（共感的人間関係）
- 読解力(勉強が好き)**
○「読む・書く・表現する」力（自己決定）
- 継続力(自分が好き)**
○目標の達成に向け、粘り強く挑戦し続ける力（自己存在感）

学校経営の基本方針

1 教育の基盤づくり
3つのキーワード（自己決定・自己存在感・共感的人間関係）に基づく授業づくりや教育活動づくりを組織的に推進する。

2 こころ（小中連携、地域との連携・協力をいかした地域とともにある学校づくりの推進）
地域学校協働活動推進員と連携しながら、楠浦を知り、楠浦の人とつながる教育活動の設定

3 くらし（学校「学級」における居場所づくり・絆づくり）
4つの「あ」（あいさつ・あとかたづけ・あつまり・ありがとう）の指導を中心とした安心・安全な学校（学級）づくりの推進

4 まなび（確かな学力の育成）
各学年に応じた基本的な学習態度（学びのかまえ）や読解力（読む・書く・表現する）及び基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成

5 からだ（健康な心身の育成）健康で安全な基本的生活習慣の定着と粘り強く取り組む態度の育成

小中連携（すくすく稜南会）共通実践4つの視点と8つの重点～9年間の学びと15年間の育ち～

こころ「楠浦がすき」	くらし「学校がすき」	まなび「勉強がすき」	からだ「自分がすき」
<ul style="list-style-type: none"> ○気持ちのよいあいさつ・返事の指導 ○そうじ・ボランティア活動 ○道徳科の授業の充実 ○児童会を中心とした絆づくり ○キャリア教育 	<ul style="list-style-type: none"> ○規範意識を育てる生徒指導の充実 ○すくすく稜南会の取組の充実 ○自他の命を大切にする安全教育の実施 ○SDGsを意識した環境教育 ○人権教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○話す・聞く（学びの構え）のそろえ ○生活習慣形成を促す読書・家庭学習 ○熊本の学びアクションプロジェクトの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的生活習慣の定着 ○教科体育の充実 ○口の中の健康づくり ○食に関する指導の充実
行動連携	目標連携	情報連携	

家庭・地域・関係機関との連携 教育を支える基盤づくり【特別支援教育・地域学校協働活動、幼・保小中連携】
 信頼される学校づくり 1 不祥事の根絶 2 学校評価等を活用した学校改善 3 学校予算の計画的・効果的執行

R5天草市立楠浦小学校グランドデザイン

学校教育目標

夢の実現に向け主体的に学び続ける児童の育成

～自分がすき、友達がすきと言える児童を育てる
 ところ・くらし・まなび・からだ 4つのプロジェクト～

- 関係法令
- 第3期くまもと「夢への架け橋」教育プラン
- 熊本の学び推進プラン
- 県教育庁各課取組の方向
- 天草教育事務所取組の方向

- 児童の実態
- 児童の思いや願い
- 家庭の実態・期待や願い
- 地域の実態・期待や願い
- 社会からの期待や要請

めざす児童像

- ころ～思いやりの心もち、ふるさと楠浦を大切にする児童「楠浦がすき」
- くらし～安心・安全な学校（学級）づくりができる児童「学校がすき」
- まなび～基礎・基本を身につけ、主体的に学ぶ児童「勉強が好き」
- からだ～たくましい心と体をもつ児童「自分が好き」

めざす教師像

- 愛情を持って児童を育てる教職員（教育的愛情と人権感覚）
- 創造性に富み、自ら伸びようとする教職員（使命感と向上心）
- 職責に責任を持ち、協力し合える教職員（組織の一員としての自覚）
- 保護者地域住民から信頼される教職員（保護者・地域住民との連携）

めざす学校像

- 明るく楽しく、明日が待ち遠しい学校
- 美しく整備され、潤いのある学校
- 地域に愛され信頼される学校

育成する資質・能力

共感力(学校がすき)

- 周りの友達の気持ちを考える力（共感的人間関係）

読解力(勉強が好き)

- 「読む・書く・表現する」力（自己決定）

継続力(自分が好き)

- 目標の達成に向け、粘り強く挑戦し続ける力（自己存在感）

学校経営の基本方針

- 1 教育の基盤づくり
3つのキーワード（自己決定・自己存在感・共感的人間関係）に基づく授業づくりや教育活動づくりを組織的に推進する。
- 2 ころ（小中連携、地域との連携・協力をいかした地域とともにある学校づくりの推進）
地域学校協働活動推進員と連携しながら、楠浦を知り、楠浦の人とつながる教育活動の設定
- 3 くらし（学校「学級」における居場所づくり・絆づくり）
4つの「あ」（あいさつ・あとかたづけ・あつまり・ありがとう）の指導を中心とした安心・安全な学校（学級）づくりの推進
- 4 まなび（確かな学力の育成）
各学年に応じた基本的な学習態度（学びのかまえ）や読解力（読む・書く・表現する）及び基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成
- 5 からだ（健康な心身の育成）健康で安全な基本的生活習慣の定着と粘り強く取り組む態度の育成

小中連携（すくすく稜南会）共通実践4つの視点と8つの重点～9年間の学びと15年間の育ち～

ころ「楠浦がすき」

- 気持ちのよいあいさつ・返事の指導
- そうじ・ボランティア活動
- 道徳科の授業の充実
- 児童会を中心とした絆づくり
- キャリア教育

行動連携

くらし「学校がすき」

- 規範意識を育てる生徒指導の充実
- すくすく稜南会の取組の充実
- 自他の命を大切にする安全教育の実施
- SDGsを意識した環境教育
- 人権教育の充実

目標連携

まなび「勉強がすき」

- 話す・聞く（学びの構え）のそろえ
- 生活習慣形成を促す読書・家庭学習
- 熊本の学びアクションプロジェクトの実施

情報連携

からだ「自分がすき」

- 基本的生活習慣の定着
- 教科体育の充実
- 口の中の健康づくり
- 食に関する指導の充実

家庭・地域・関係機関との連携 教育を支える基盤づくり【特別支援教育・地域学校協働活動、幼・保小中連携】

信頼される学校づくり 1 不祥事の根絶 2 学校評価等を活用した学校改善 3 学校予算の計画的・効果的執行